各特別委員会が開催されます

傍聴におこし下さい。

川口市議会では、4つの特別委員会があり、各委員会は10名~11名の委員で構成されています。今回の委員会は5月18日~20日までの日程で開催されますので以下、日時、報告事項などをお知らせ致します。当日は3名まで傍聴することが出来ます。

傍聴ご希望の方は当日、議会事務局(新庁舎7階)で傍聴申請書に所定事項を記入の上、傍聴券を受け取って入場できます。

5月18日(水)……

地域活力・市民生活向上特別委員会

午前10時

1 マイナンバーカードの普及促進について

第3、第4委員会室

2 グリーンセンター再整備事業について

5月19日(木)……

都市基盤整備 · 防災力向上特別委員会

午前10時

1 神根運動場周辺整備事業について

第3、第4委員会室

2 川口市営住宅長寿命化計画の見直しについて

5月20日(金)……

次世代支援・教育力向上特別委員会

午前10時

1 学校における外国籍児童生徒への日本語指導について

第3、第4委員会室

2 いじめ根絶に向けた取り組み状況について

5月20日(金)……

保健医療・高齢者等福祉対策特別委員会

午後1時30分議場

- 1 医療的ケア児への支援に関する取り組み状況について
- 2 川口市安行霊園基本方針について
- 3 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について



2022年5月8日·15日 No.1655

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川 2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528 https://www.kawaguchi-jcp.jp/

5月1日—賃金上げろ!憲法守れ!



5月1日(日)第93回川口 メーデーが開催されました。 党市議団も参加し連帯の挨 拶をしました。今年は、川口 西公園での集会と川口駅頭 から参加者が、職場や暮らし の現状を語りました。

新自由主義によって貧困と 格差が広がり、国民生活のく らしがいっそう深刻な状況に 置かれているにもかかわらず、

消費不況、コロナ感染による雇用と生業の危機、そしてウクライナ侵略という蛮行が、 そのきびしさに追い打ちをかけ、政治の無策ぶりに我慢も限界です。メーデーでは、働 く者の連帯と共同の力で乗り越えること、それは日本国憲法を活かす事こそ実現できる こと、憲法が生きる社会の実現のため、参議院選挙で勝利をめざす事を確認しました。

5月3日一改憲ストップ 9条いかした平和外交を!

5月3日の憲法記念日にあたり党市議団は、川口駅頭で「憲法を守ろう」「ロシアは国連決議を守れ」などを求める市民のみなさんや村岡まさつぐ県議、国会議員と一緒に改憲ストップ・9条活かした平和外交で東アジアに平和の枠組みをと訴えました。その後、「改憲発議を許さない! 守ろう平和といのちとくらし2022憲法大集会」に参加しました。



「1人1台タブレットで」 学校・教育はどうなるの!?

5月8日、埼玉教育会館を会場に、よりよい教科書を求める埼玉連絡会の主催で『「1人1台タブレットで」学校・教育はどうなるの!?』と題し法政大学の児美川先生を講師に講演会が開かれました。

国のGIGAスクール構想のもと、学校では児童・生徒一人に1台のタブレットが配布され Society 5.0 での教育改変が進められています。コロナ禍で学校が長期休業を余儀なくされる中で、子ども達の学びをとめないと学校のICT化を前倒しですすめてきました。特にGIGAスクール構想は経団連などの経済界が強力に推し進め、その狙いは公教育を巨大な市場と位置付け、企業に役立つ人材育成を行うことが求められています。経済産業省は「未来の教室」ビジョンでICT活用による教科学習を「個別最適化」し、浮いた時間で探究的な学び(企業と連携するSTEAM教育)にあてるとして、学校での学びの形を大きく変容しようとしています。

これらは、A I や I C T による個別学習、学校や教師の削減、民間教育産業の躍

動により学びが定型化され、意欲のない子や質の高くない学びに終始する子も生み出しかねず、家庭の経済力等によって格差が開き学びの貧困、人間的成長にも影響が出ることが懸念されていると指摘されています。



現在、少人数学級の推進や共同の学びの中で教育のICT化は、

自分たちの必要な学びを進める手段として、画一的な活用ではなく工夫をして使うことが必要です。問題提起がされる中、さいたま市でのスタサプ (ドリル) の導入の問題点や県立高校での実態など教育現場からの報告もあり、私立学校の教師からは I C T 活用が進んでいるが、I C T に代用されないものが何かを考えていくことの必要性も語られました。

子どもの健康的な問題についても今後の検証を進めていきながら、教育の公共性・ 教育の機会均等など深めすすめていくことが必要です。

国・県・市が 役割を発揮して公営住宅の充実を

日本では住宅まで自己責任となっていて、住居のために重い負担をしている国民が多いのが現状です。本来は国・県・市がもっと役割を発揮して公営住宅の充実を図るべきです。川口市は県内で市営住宅の戸数が一番多い市ではありますが、それでも質も量も改善が必要です。今月は川口市の市営住宅の入居者募集の月ですのでお知らせします。

問 市営住宅の募集はいつおこなっていますか?

答 年3回(5月・9月・12月)行っています。 5月の受付期間は21日(土)の消印有効となっています。

問 申し込みはどうすればよいですか?

答 申込書は募集期間中のみの配布です。申込書に必要事項を記入のうえ、原則郵 送にて受付となります。応募多数の場合は公開抽選で入居予定者を決定します。

問 収入基準はどうなっていますか

答 市営住宅の収入月額(世帯全員の年収から所得控除などを差引して12で割った もの)は一般世帯158000円以下、高齢者・障害者等の世帯214000円以下とな っています。

問申込書の配布場所はどこですか?

答 第一本庁舎 2 階総合案内、第二庁舎 1 階ロビー、市内各支所(新郷、神根、芝、安行、戸塚、鳩ヶ谷)、川口駅前行政センター、各駅連絡室(西川口駅、蕨駅前、芝、鳩ヶ谷駅)、川口市営住宅入居サービスセンター、鳩ヶ谷庁舎 1 階受付・4 階住宅政策課

またはお近くの日本共産党市議会議員まで

お問い合わせは

埼玉県住宅供給公社 川口市営住宅入居サービスセンター 所在地:〒334-0011 川口市三ツ和1-14-3 (鳩ヶ谷庁舎1階) 電 話:**048-729-5967**